

ブルームバーグ・ソフトウェアのアップデート および有効期限に関するポリシー

日本語

2024年9月1日

バージョン: 2.0

目次

1. 概要	3
2. ソフトウェアのリリース	4
ソフトウェアコンポーネント	4
バージョン形式	4
リリース頻度	4
3. ソフトウェアのアップデート	5
ダウンロード	5
インストール	5
詳細情報	6
4. ソフトウェア有効期限	9
ソフト警告ログインは可能	9
ハードブロッカーログインは無効	10
有効期限延長リクエスト	10

1. 概要

本資料は、ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアのリリース、アップデート、および有効期限に関する詳細を記載したものです。初期設定および定期アップデートにおいてソフトウェアリリースのプロセスが容易かつ安全に実施されることを目的としております。

ブルームバーグでは、ブルームバーグ ターミナルの設置・設定・保守に関する他のさまざまな補足資料も提供しております。これらの資料は、サポート[資料](#)のウェブサイトから取得できます。手続きや技術面に関するご質問、一般的なトラブルシューティングの手順に関する詳細は、[よくある質問 \(FAQ\)](#) セクションをご参照ください。当資料や別の資料の内容に関するその他のお問い合わせは、年中無休の[ブルームバーグカスタマーサポート](#)までご連絡ください。

2. ソフトウェアのリリース

ソフトウェアコンポーネント

以下は、ブルームバーグ ターミナルのソフトウェア・コンポーネントに関する説明です：

ソフトウェアコンポーネント	概要
Bloomberg Application	ブルームバーグ ターミナルの主要アプリケーション
Bloomberg Update Manager	Bloomberg Update Service を開始するソフトウェア・コンポーネント
Bloomberg Update Service	利用可能なソフトウェアのアップデートを確認しダウンロードするソフトウェア・コンポーネント
BBComm	ブルームバーグ・デスクトップ API 用の Bloomberg Communications Server
Office Tools	API データを Microsoft Office アプリケーションにインポートするブルームバーグ・アドイン
Webview	Bloomberg Application および Office Tools 内にウェブコンテンツを表示するソフトウェア・コンポーネント
Bloomberg Voice Fonts	Text-to-speech (TTS、音声合成) ソフトウェア・コンポーネント

ブルームバーグ ターミナルのソフトウェア・コンポーネント

バージョン形式

ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアのバージョンは、次の形式で表示されます。**ブランチ.ビルド.タイプ**（例：バージョン 141.5.81）。

- **ブランチ**はソフトウェアのメジャーバージョンです。
- **ビルド**は、同じブランチの中のマイナーバージョンです。
- **タイプ**は、ソフトウェアのビルドタイプです。

ブルームバーグ・アプリケーションには、本番環境ソフトウェアとしてビルドタイプ **80** または **81** があります。

他のソフトウェアコンポーネントも同じ形式になります。Bloomberg Update Manager と Bloomberg Update Service は現在、日付を表したような旧バージョン番号（例：03/01/24）を使用していますが、今後は上記と同じ「ブランチ.ビルド.タイプ」の形式に移行される予定です。

リリース頻度

通常、ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアは月に **2 回** アップデートされます。新しいバージョンが利用可能になると、ブルームバーグ ターミナルでは、ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に、自動的にアップデートプログラムをダウンロードしてインストールします。手動でインストールする必要がある場合、弊社のウェブサイト about.bloomberg.co.jp/software-support でも同じアップデートをご利用になれます。

他のソフトウェア・コンポーネントのリリース頻度はそれぞれ異なります。

3. ソフトウェアのアップデート

ダウンロード

新しいバージョンが利用可能になると、Bloomberg Update Service (clientrater.exe) では新しいバージョンを検出し、バックグラウンドでダウンロードします。

ダウンロードの進行は、ターミナルで **UPGR <GO>** でモニターできます。

UPGR 機能には、バージョンを示す列が二つが表示されます：

- **現バージョン**は、現在ご使用のコンピューターにインストールされているバージョンです。
- **指定バージョン**は、必要とされるバージョン（通常は最新の本番環境バージョン）です。指定バージョンが現バージョンと異なる場合、指定バージョンがダウンロードされた後にインストールされます。

最も一般的なタイプのステータスは次の通りです：

- **最新バージョン**は、ソフトウェア・コンポーネントが最新であることを意味します。
- **フルバージョンをダウンロード**は、利用可能なアップデートがバックグラウンドでダウンロード中であることを意味します。
- **終了時に更新**とは、ブルームバーグ ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に、利用可能なアップデートがインストールされる予定であることを意味します。

ブルームバーグ・ソフトウェア・コンポーネント・ステータス				
ブルームバーグ・ソフトウェア・コンポーネント・ステータス				
S/N: 1234567				
ソフトウェア・コンポーネント	現バージョン	指定バージョン	ステータス	
Bloomberg Application	149.4.81	150.6.81	終了後に更新	
BBComm	68.2.88	68.2.88	最新バージョン	
Bloomberg Update Service	07/02/24	07/02/24	最新バージョン	
Bloomberg Update Manager	03/01/24	03/01/24	最新バージョン	
Webview	125.5.60	127.5.60	フルバージョンをダウンロード (10%)	
Office Tools (64-bit)	68.8.57	69.10.57	フルバージョンをダウンロード	
Bloomberg Voice Fonts	23.1.85	23.1.85	最新バージョン	

UPGR <GO>のソフトウェア・コンポーネント・ステータス

インストール

ダウンロードが完了すると、Bloomberg Update Service では、ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に、アップデートを検証し、自動インストールを事前設定します。

注： Office Tools のアップデートでは、インストールを開始するには、すべての Microsoft Office アプリケーションも終了させる必要があります。

ターミナルが開いている場合：

インストールは、ターミナルがログオフされてアイドル状態になってから 5 分後に開始されます。すなわち、

1. ユーザーは、ログオフする必要があります（ログイン状態ではアップデートは実行されません）。かつ
2. ユーザーは、5 分間アイドル状態（キーボードやマウスの操作なし）にする必要があります。

インストール中はターミナルが閉じられます。

インストールが完了すると、ターミナルは自動的に開きます。

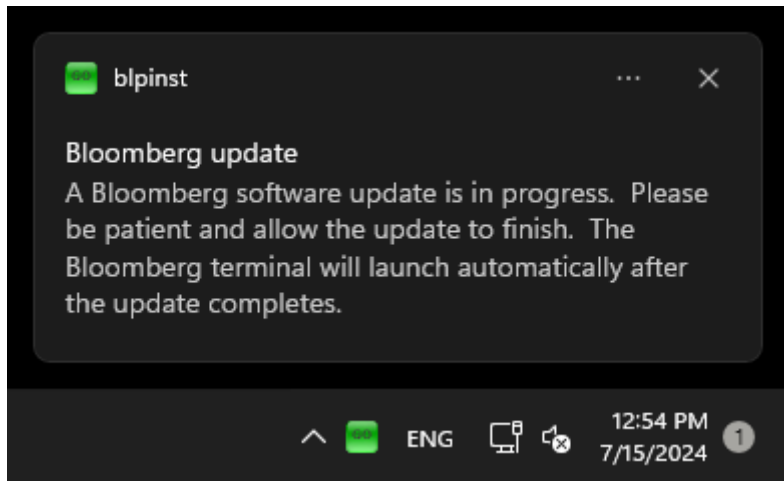
ターミナルが閉じている場合：

インストールは、ターミナルが完全に閉じてから 2 分後に実行されます。

インストールが完了すると、ターミナルは閉じたままになります。

インストール中

ユーザーがインストール中にブルームバーグ ターミナルへログインしようとする、通知が表示されます。アップデートが完了すると、ターミナルが自動的に開きます。



ソフトウェアのアップデート中を示す通知

アップデートが失敗した場合（例：Windows のログオフもしくはシャットダウンによりアップデートが開始されないもしくは中断される、ファイル操作でエラーが発生する）、次に Windows へログインした際、すぐにアップデートが再開されます。

詳細情報

以下のリストは、インストールに関連する主なプロセスを示しています。当リストが全プロセスを網羅している訳ではありません。

Bloomberg Update Manager (clientratrermgr.exe)

このプロセスにより、Bloomberg Update Service (clientrater.exe) が常に行われます。

Bloomberg Update Manager は、ブルームバーグ ターミナルのメインプロセス (wintrv.exe) の起動と同時に起動します。また、ターミナルが動作していない際は、バックグラウンドで起動し、ソフトウェアが最新の状態に維持されます。

Bloomberg Update Service (clientater.exe)

このプロセスでは、ブルームバーグ ターミナルの各種ソフトウェア・コンポーネントの利用可能なアップデートを確認し、ダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に Bloomberg Install (blpinst.exe) または Component Install (*upd.exe) が実行されるように事前設定も行われます。

Bloomberg Update Service は、ブルームバーグ ターミナルを閉じてバックグラウンドで動作し続けます。

Bloomberg Install (blpinst.exe)

このプロセスでは、最新のソフトウェア・アップデート・メカニズムを使用してソフトウェアのアップデートをインストールします。

ダウンロードが完了すると、Bloomberg Update Service (clientrater.exe) ではこのダウンロードを検証し（ブルームバーグによるデジタル署名）、ブルームバーグの Content Archive ディレクトリ (%ProgramData%\BLP) にエンコードされたデータを書き込みます。このディレクトリに、ブルームバーグが署名したマニフェストファイルが保存されます。その後、Bloomberg Update Service では、ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に、適切なパラメータ（コンポーネント名とバージョン番号）で Bloomberg Install を実行するように事前設定します。

Component Install (*upd.exe)

このプロセスでは、従来のソフトウェア・アップデート・メカニズムを使用してソフトウェアのアップロードをインストールします。

ダウンロードが完了すると、Bloomberg Update Service (clientrater.exe) ではこのダウンロードを検証し（ブルームバーグによるデジタル署名）、ブルームバーグのインストール・ディレクトリ（例：C:\blp）にある自己完結型インストーラー・ファイル

(*upd.exe) にデータを書き込みます。その後、Bloomberg Update Service では、ターミナルを使用していない（ログインしていない）時間中に Component Install を実行するよう事前設定します。

Component Restore (*RST.exe)

このプロセスでは、クライアント PC に以前にインストールされたソフトウェアバージョンを復元します。

Component Restore は、ソフトウェアのアップデート中に作成され、必要に応じて復元に使用できます。

なお、Component Restore を実行しても、ソフトウェアが再びアップデートされるのを回避することはできません。サポートが必要な場合は、弊社までお問い合わせください。

ソフトウェア・コンポーネント別の主要なプロセス

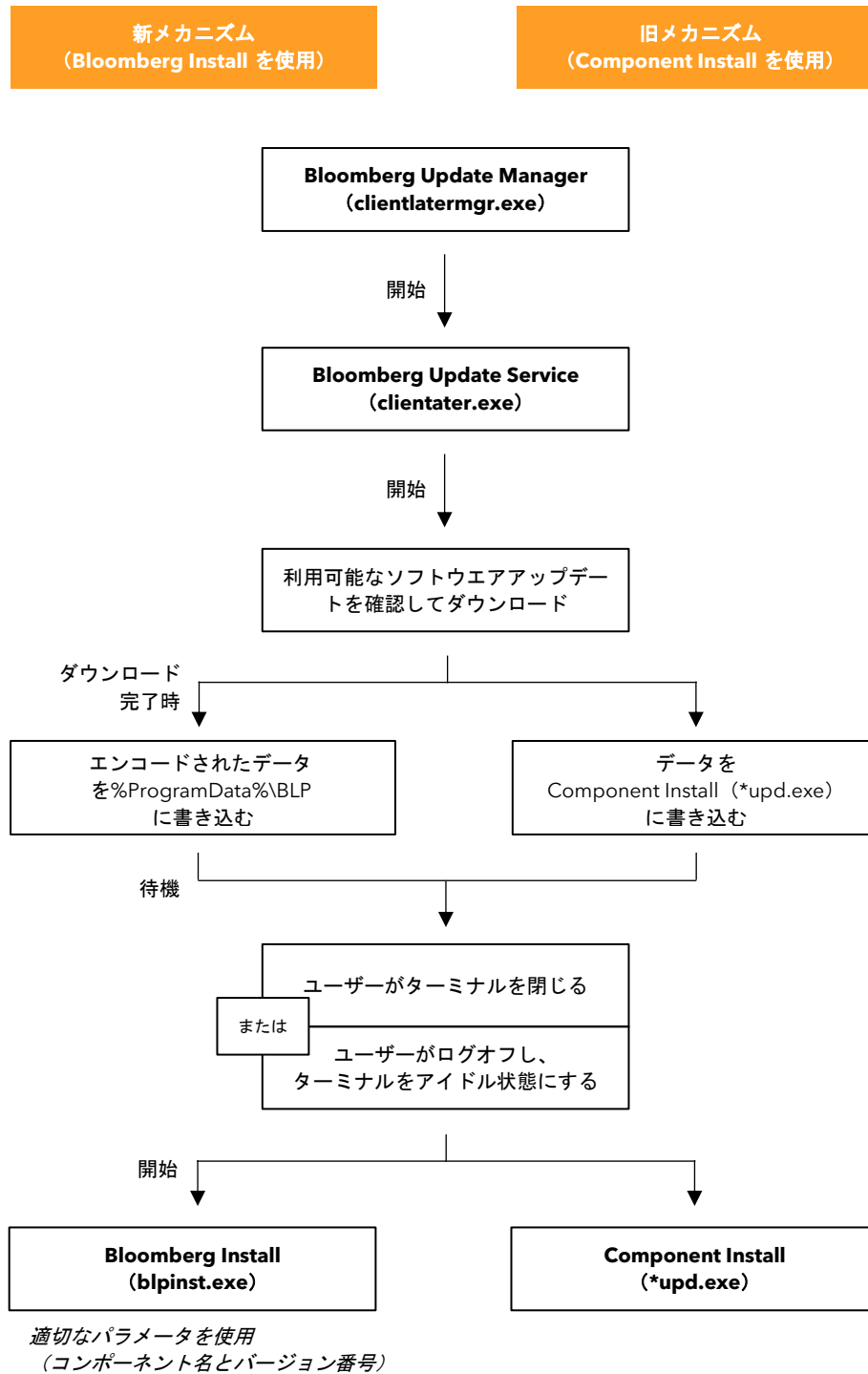
ブルームバーグ ターミナルの各ソフトウェア・コンポーネントの主なインストールと復元プロセスは以下の通りです：

ソフトウェアコンポーネント	インストール・プロセス	復元プロセス
Bloomberg Application	blpinst.exe	blprst.exe
Bloomberg Update Manager	umgrupd.exe	umgrrst.exe
Bloomberg Update Service	bbusupd.exe	bbusrst.exe
BBComm	tbbcupd.exe	tbbcrst.exe
Office Tools (32 ビット)	bxlaupd.exe	bxlarst.exe
Office Tools (64 ビット)	ot64upd.exe	ot64rst.exe
Webview	wbvwpd.exe	wbvwrst.exe
Bloomberg Voice Fonts	bvftupd.exe	bvfrst.exe

ブルームバーグ ターミナルの各ソフトウェア・コンポーネントに関するインストールと復元のプロセス

主なプロセスの流れ

以下の図は、ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアの新旧メカニズムにおけるダウンロードとインストールの主要プロセスを示しています。



ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアのダウンロードおよびインストールのプロセス

4. ソフトウェア有効期限

ブルームバーグでは、ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアの最新バージョンを常に使用することを推奨しています。これにより、重要な修正やセキュリティ更新が確実に行われ、新たな機能性を活用いただけます。通常、ソフトウェアのアップデートは2週間ごとにリリースされ、毎回シームレスにインストールへつながっています。

ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアでは、常に**6つの最新バージョン（ブランチ）**が、ログインに有効なバージョンと見なされ、これらにはブルームバーグによる万全のサポートが提供されます。最新の6つのバージョンより前のソフトウェアは、期限切れとしてマークされ、ログインできなくなります。期限切れのソフトウェアは、ユーザーがログインする前に最新の6つのバージョンのいずれかへアップデートする必要があります。本番環境にリリースされたバージョンは、平均して**約3カ月間**ログインがサポートされた後、有効期限切れとなります。

[Release Notes（リリースノート）](#) ページ（英語）には、リリース履歴が掲載されています。

ソフト警告—ログインは可能

通常、ソフトウェアの有効期限が切れる5日から10日前にはログイン時にソフト警告が表示され、ソフトウェアの継続利用にはアップデートが必要であることが通知されます。この通知が表示されても、ブルームバーグ ターミナルが使用できなくなるわけではありませんが、有効期限前に対処する必要があります。

ブルームバーグ・ソフトウェア使用状況

ブルームバーグ・ソフトウェア(バージョン 149.4.81)は間もなく有効期限切れ

ソフトウェアの更新状況は [UPGR<Go>](#) でご確認ください。継続して問題なくログインできるようにするためには、ソフトウェアを更新してください。

1) この警告による実行を保留して夜間に更新

この警告ウィンドウは閉じられます。バックグラウンドでは引き続き更新プログラムがダウンロードされ、ターミナルの再起動後にインストールされます。このメッセージが再び表示される場合は更新プログラムのインストールが完了していないことを意味しますので、お客様の会社の IT 部門またはヘルプデスクへお問い合わせください。

2) 今すぐ更新

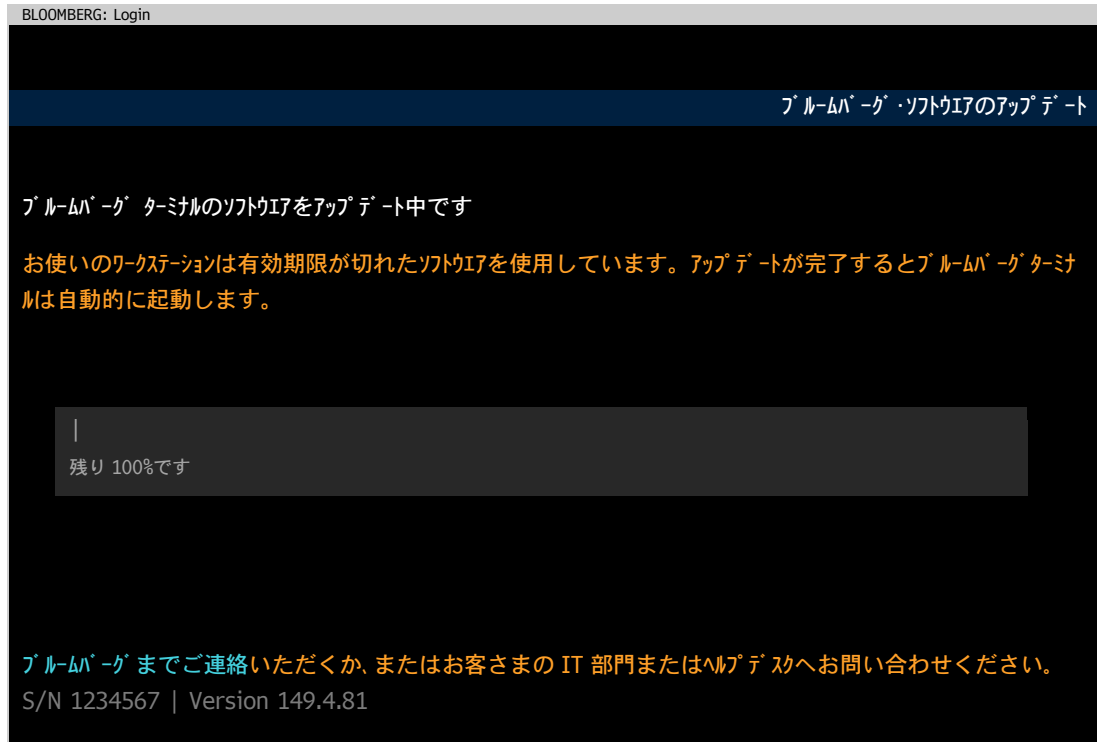
重要: 当更新を実行する権限がない場合があります。ご不明の場合もしくは**更新要件**を満たさない場合、まずはおお客様の会社の IT 部門またはヘルプデスクへお問い合わせください。ウェブブラウザを使用して、更新ソフトウェアが直ちにダウンロードされます。ダウンロード完了後は、ダウンロードしたファイルを実行して更新をインストールしてください。

ソフトウェア有効期限の通知

ハードブロッカーログインは無効

ブルームバーグ ターミナルのソフトウェアの有効期限が切れると、ログインできなくなります。続行するには、サポートされているバージョンにソフトウェアをアップデートする必要があります。このシナリオでは、ブルームバーグ ターミナルは引き続きアップデートを自動ダウンロードしてインストールを試みるので、進捗バーが表示されます。

ターミナルへのログインがブロックされないよう、ソフトウェアの有効期限が切れる前にソフトウェアをアップデートすることが非常に重要です。



ソフトウェア期限切れブロック

有効期限延長リクエスト

ブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアをご利用のお客さまに安定した環境を提供するため、常に最新バージョンへのアップデートを推奨しています。これにより、新機能、最新のセキュリティパッチ、パフォーマンス最適化を受けることができ、中断なくログインし続けられます。

例外的にソフトウェアのアップデートが間に合わず、有効期限の延長が必要な場合は、ブルームバーグ・テクニカル・サポートまでご連絡ください。リクエストが審査のうえ承認された場合は、有効期限切れバージョンをお使いのユーザーに短期の延長が1回だけ認められます。サポート対象外/有効期限切れのバージョンでブルームバーグ ターミナル・ソフトウェアを実行すると、サービスが中断される恐れがありますのでご注意ください。

お問い合わせ

詳細につきましては、ブルームバーグ ターミナル上で<HELP>キーを2度押してお問い合わせください。

[bloomberg.com/professional](https://www.bloomberg.com/professional)

北京
+86 10 6649 7500

ドバイ
+971 4 364 1000

フランクフルト
+49 69 9204 1210

香港
+852 2977 6000

ロンドン
+44 20 7330 7500

ムンバイ
+91 22 6120 3600

ニューヨーク
+1 212 318 2000

サンフランシスコ
+1 415 912 2960

サンパウロ
+55 11 2395 9000

シンガポール
+65 6212 1000

シドニー
+61 2 9777 8600

東京
+81 3 4565 8900